

くもだいらのくまじちゃん

## くもだいらのくまじちゃん

3年 T・Mさん

アリの絵をかいてみた。小さい時からよく知っているから書けるもん!! 理科でもこん虫だとならったばかり。本のさし絵にもいっぱいかいてあったし、書けるはず。だけど、毛虫みたいになっちゃった!!

とまきちゃん、さつきから見るよ。さつきうつかわった子。おとなしいせいかわく、おしゃべりは得意ではない。何をするのもゆつくりだ。けれど、自分の目で見ただけのものについて自分の頭で、考えている。何事もよくかんさつしている。たごえは坂下さんのスカートもよう。アリの体の様子や行き先。とまきちゃんはさつきが当たり前のように知っていること、とまきちゃんは、きょうみがないみたいだし、さつきがかんたんにできることは、とまきちゃんにとっては、昔手ごとのようだ。何でも「知っている」「さつきのさつきからみるよ、だしかにとまきちゃん、少しもどかさうい。

さつきは、何でもよく「知っているおしゃべり上手な子。よくいろんな人にたよりにされ、ほめられる。でも、自分とはちがうタイプのとまきちゃんのことを時々うとましく感じてとまきちゃんの気持ちをむしりてしまつこともある。その気持ちは、私にも少し分かる。まだ一年生のころ、仲良しの友だちがいつもべつべつとくういってくること、待っててくれること、気がつかないふりをしてしまったことがあるから。さつきが「いじわるじゃないよね。」とふりかえつたのは、本当はいじわるなことをしたと思つて、こうかいてるからじゃないかな。

だけど、さつきは、一人でいる時、「とまきちゃんのふしぎな行動や発言について、考えつづけた。それは、とまきちゃんがいつもしているのと同じみたい。さつきが「もりの木は同じに見えるけど、同じじゃないよ。』。と、いってとまきちゃん。その言葉は、私やさつきに「知っているはず」「の魚や海や木について考えたり、想をうさせて、大切さを教えてくれたのかもしいない。

この本をよむ前の私とよんだ後の私もきつとちがうね。